

# 共生

奈良県生協連

2011年1月

NO.79

## 万葉のいぶきを求めて—(44)



勝間田の池

かつまた 池はわれ知る はちす 蓮なし しか言う君が ひげ 鬚なき如し  
おみ 人  
婦 人

ここに詠われた勝間田の池の所在地は諸説あって不明ですが、平安時代に書かれた枕草子にも初瀬への参詣の道筋に「池は勝間田の池」と見える事から、この頃はまだ存在していたようです。今日では、奈良医療センターの前に広がる大池かとも言われています。

この歌で「君」と呼ばれた人物は、天武天皇の皇子、新田部親王で、その邸は今日の唐招提寺の地にありました。勝間田の池を見て来た親王が、帰って来て身近の婦人に「池は実にきれいだったよ。蓮の花が水に映えてね…」と語ると、女性は「池は私もよく知っていますよ。蓮の花なんかありませんよ。あなたに鬚なんかないようにね…」とやり返します。

この大池の畔から眺める薬師寺遠望は絶好の撮影ポイントとして多くのカメラマンで賑わっています。しかし、その薬師寺の東西双塔並び立つ秀麗な姿も、東塔の解体修理のため覆屋につつまれ、今後10年間は見られなくなります。



# 新年のご挨拶

## 新しい年に20年の基盤の再強化を

奈良県生活協同組合連合会 会長 瀧川 潔



新年あけましておめでとうございます。会員及び各組合員の皆様方にはそれぞれに、新しい抱負をもった新年をお迎えのことと思います。

当連合会は昨年20周年を迎え、おかげさまで皆様方のご協力によって各記念の取り組みが成功裡に進められました。心から感謝申し上げます。

特に記念式典では、行政、各政党を始め、日本生協連の仲間とともに県内の協同組合や友誼団体のご参加をいただき、荒井知事の記念講演を頂戴することができました。知事の奈良県行政についての抱負、中でも医療福祉に関する具体的な展開は、当会の活動とも関連して大変重要なものでした。今後も一層、県行政や協同組合を始め関係各位との連携が進められるよう、当会として会員のみなさんとともに奮闘する必要を痛感致しました。

新しい年を迎えましたが、私たちの暮らしを巡っては、国際的な政治経済はいまだ混迷を脱せず、新興国の牽引も力不足の状況のようです。しかしながら、12月10日に閉幕した「COP16」では、会議開催中の重苦しい雰囲気にもかかわらず、最終的に前進的な内容が合意決定され、示された予想以上の各国の前向きな姿勢に救われる思いが致しました。少しずつであっても、話し合いが合意に進む国際機運は、大切な流れです。

国内経済も上昇の機運はなく、「政権交

代」も、「根付いた課題」の転換にはなかなかの様相です。財源をめぐる消費税問題、食料をめぐるTPP問題（関税問題）など、複雑な課題にも市民としての対応が求められています。これらの課題の解決には、多数者である低所得者市民の暮らしを守るとともに、単なる「低価格」に目を奪われるのではなく、将来の暮らしを守る視点での対策が必要不可欠です。これらの課題については、消費者・市民の暮らしを守る生活協同組合として、協同組合の仲間とともに論議し、考え方をまとめて行くことが大切です。政治家任せではなく、私たち市民の力が発揮できないと「予想以上の前向きな状況」は生まれないのではないのでしょうか。

今年の「えと」はうさぎ年。兎にちなんで「うまずたゆまず、協同の活動を着実に推進すること」「さきを見たとりくみを常に意識して活動すること」「ぎろんを大切に、決めたら皆んなで実行すること」を念頭に、今年の諸活動に取り組んで行きましょう。この新しい年に20年の活動の基盤をしっかりと再強化して、来る2012年の「国際協同組合年」に、新しい協同組合の活動の展開を奈良県で花開かせることができるよう、皆んなで頑張って活動を進めてまいりましょう。



### もくじ

新年のご挨拶 県連瀧川潔会長……	1
新年のご挨拶 荒井正吾奈良県知事…	2
県連創立20周年式典・レセプション…	3、4、5
食の安全シリーズ No.4……	6

おじゃましました・生活クラブ生協…	7
環境のページ……	8
つながる連帯・友好の輪……	9
奈良の消費者行政を考える会シンポジウム…	10



# 平成28年 新年のご挨拶

奈良県知事 荒井 正吾



奈良県生活協同組合連合会の組合員並びに関係者の皆様、明けましておめでとうございます。

新しい年が、皆様にとりまして幸多き年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年、日本の歴史・文化が連綿と続いてきたことを祝い、感謝し、未来の安寧をお願いする平城遷都1300年祭が開催されました。県民の皆様には、行催事の開催にご協力いただくとともに、もてなしの心を持って来訪者を温かくお迎えいただき、改めて感謝申し上げます。

## 奈良のより良き未来を 創るために力を合わせて

平城遷都1300年祭は奈良の持っている価値、歴史そのものを発信することで大きく賑わいました。このお祭りを一過性のものとせず、「巡る奈良」事業など、奈良の魅力を観光の飛躍的発展につなげていきたいと思えます。

「地域経済の振興」と「良質の雇用の確保」も重要です。「奈良で暮らし、奈良で働く」を実現していくため、企業誘致と地場産業の活性化による雇用の創出に取り組んでいきます。

就任当初から力を入れてきた地域医療は、絶対に断らない救急医療の体制づくりや高度医療の充実など安心できる医療体制を築いていくことに、全力を挙げたいと思えます。

また、高齢者や障害者が生きがいや誇りを持って安心して暮らせるような支援を行い、県民すべてが生き生きとした活力ある健康長寿県の実現を目指したいと思えます。

中南部・東部地域の振興についても、力を注ぎたいと思えます。元気なまちづくり、生き生きとした暮らしづくりに向けた県の取り組みに、ぜひ県民の皆様のお力を添えていただきたいと存じます。

## 県政運営を オリジナルな知恵で

奈良のより良き未来を創るために5つの構想案を作りましたが、その具体化のためには、県政運営に推進力が必要です。無駄なことはしない、節約を図る、効率的に仕事をするなど、小さな事の積み重ねで、少しでも前に進む力を貯えることが大切です。PDCAと呼ばれる事業効率化のためのサイクルを繰り返し行いながら、将来に向けた新たな芽を出すようにできたらと思っています。

## 県民の皆さま及び 市町村と「協働」の精神で

1300年祭では、県民のボランティアの方々が大活躍でした。お祭りを成功に導く大きな力になっていただきました。これからの地域の賑わいづくり、くらしづくり、まちづくりのために、このような力をお借りできたらと存じます。

奈良の未来を育むために、「協働」の仕組みを充実させていきたいと思えます。

地域の力が問われるこのような時だからこそ、県民の皆さまが育んでこられたふるさとへの自信と誇りが、大きな原動力となって、奈良の元気につながっていくと確信しています。

常に、県民の暮らしを良くしたいという願いを強く持ち、皆さまのご意見やご提案に十分に耳を傾け、皆さまと力を合わせて奈良のより良き未来を築いていきたいと考えております。皆様の一層のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

最後に、奈良県生活協同組合連合会並びに各生活協同組合のますますの発展を祈念申し上げて新年のご挨拶といたします。

# 奈良県生活協同組合連合会 20周年記念式典を開催



奈良県生協連 瀧川潔会長

11月20日、奈良ロイヤルホテルにて奈良県生活協同組合連合会20周年記念式典が開催され、130人の来賓、関係者の方々にご出席いただきました。瀧川潔会長より行政や議会、友誼団体、日本生協連はじめ生協近畿府県連の仲間、会員生協への感謝の挨拶の後、来賓の方よりご祝辞をいただきました。

出口武男 県議会議長からは、生協の食品の安全・食育活動や環境、防災の取り組みなどへの感謝の言葉をいただきました。永田正利 協同組合連絡協議会委員長からは協同組合の日頃の連携した取り組みのご紹介とともにTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）に対する農畜産業への影響などの懸念に対して、協同組合として連帯して取り組みたい決意を述べられ、日本生協連山下俊史会長からはこの20年間の生協の状況変化など、社会の期待と責任の重要性、奈良県生協連への期待の言葉をいただきました。県選出国會議員（代理秘書）、ご出席の県會議員のご紹介をし、仲川げん奈良市長のメッセージをご紹介しました。

## 来賓祝辞



奈良県議会議長  
出口武男様



奈良県協同組合連絡協議会委員長  
永田正利様



日本生活協同組合連合会会長  
山下俊史様

## 荒井知事『奈良の未来』を語る



奈良県知事 荒井正吾様

記念講演として奈良県知事荒井正吾様より『奈良の未来を語る』と題して、5つの構想案から『健やかに生きる』構想案を資料に基づいてお話いただきました。ここには4つの目標 ①地域医療の充実 ②健やかな暮らしづくり ③いきいきと暮らせるまちづくり ④スポーツの振興が掲げられており、目指す姿として『安心して健やかに暮らせる健康長寿県 奈良』を謳っています。

まず、地域医療では県内の医療費や疾病別・地域別状況から見えてくる事を、山添村を

例に挙げ説明されました。健診受診率の高さ、高齢者就業率の高さ、高齢者の同居家族の多さと自宅死亡率の高さから、老人医療費が県内最下位という成果を生み出していますが、そこには僻地医療の経験を積まれた吉本清信先生の存在が大きく、一つのモデルにして取り組みたいと述べられました。

次に、生活習慣の改善等により日本一の健康長寿立県を目指す課題では、一つにスポーツ振興を揚げ「総合型地域スポーツクラブ」の設立を目指し、その核施設として浄化センター公園

### 「健やかに生きる」構想案





にあるファミリープールを奈良市の県営プールの移転に伴い拡充し、周辺公園とともに生涯スポーツの拠点にしたいと述べられました。

また、救急医療システムの構築では、0.5次救急として「救急安心センター（#7119）」や「小児救急医療電話相談（#8000）」を開設し、電話相談で救急車を呼ぶ前の仕分けをし、1次・2次・3次救急の整備を進め、特に3次救急の役割を担う県立救命救急センターの拡張計画を説明されました。県立医大での医師養成に奨学金を出し、山間僻地への派遣に取り組むことなど「切れ目のない医療提供体制を実現す

るための連携・協定」を熱く語られました。知事ご自身「チョッと熱くなり過ぎました」とおっしゃるほどに熱弁を振るわれました。

## 組合員参加による『知事と語ろう』

知事の講演後、会員生協より学生を中心に11名の組合員が登場し、それぞれ知事さんに聞いてみたい事をボードに記入して質問しました。質問は「知事さんはどんな仕事を？」や「日頃、どんな勉強しているの?」、「奈良の寺社の周りは淋しい」や「奈良の魅力はどこですか?」「どのようにPRしているの?」、「若い農業者を育てること」や「野菜をもっと食べる食生活」、「安心して子育てできる地域づくり」など知事さんの日常や県の政策にかかわることなどの質問もありましたが、「吉野で就職したいので知事さん、私のために何とかして!」「県立大に大講義室をつくって!」など、具体的な質問や「人生を変えた1冊の本を紹介して」など、会場を沸かす質問もありました。

荒井知事からは全ての質問にお答えいただき、奈良の自慢は歴史であること、県立大学を東アジア文化の拠点にしたいという構想、人の出会いや言葉の大切さなど思い出に触れ語っていただきました。最後に「生協もみなさんも勇気をもってあるがまま進まれてはどうか」と締めくくられました。



荒井知事と語る

## レセプション

午後からはご来賓の国会議員を代表して民主党滝実議員からご挨拶いただき、自民党田野瀬良太郎議員からのメッセージとご出席いただいた民主党中村哲治議員をご紹介、森林組合連合会の山本陽一会長理事の乾杯で和やかに懇談を進めました。天理大学雅楽部による舞楽「青海波」の公演が平城遷都1300年祭にふさわしく会場を盛り上げ、スライドで奈良県連の20年を振り返りました。

大学生協では役員OBの参加もあり、学生委員たちと新旧の交流を深めていました。

当日は20周年記念誌と機関誌「共生」の表紙を飾っている『万葉のいぶきを求めて』（桂塚己氏による県内を謳った万葉歌とその地の訪問エッセー）をまとめた冊子を配布しました。



衆議院議員 滝実様



森林組合連合会会長  
山本陽一様



天理大学雅楽部の皆さんによる公演

# おかげさまで20年!

20周年の関連行事は、4月号の共生での歩みのご紹介に始まり、7月のピースアクション、9月近畿地区生協行政合同会議、11月の記念式典、記念誌と『万葉のいぶきを求めて』の発行、12月の地域生協組合員理事交流会と1年を通じた諸行事も無事に終わりました。やっと二十歳ですがこれからも皆様方からご支援をいただきながら、会員生協と地域社会に役立つ連合会になれるよう頑張ります。

これからの奈良県連、2009年総会で発表しました『奈良県での生協の発展をめざして=奈良県生協連 将来ビジョン=』を順次、年度方針に反映していきます。

## 奈良県生協連 3本の柱

- I. 奈良県生活協同組合連合会は生協法と定款に掲げる目的を達成するために、会員のための連合会として会員生協の健全な発展のための支援をし、生活協同組合の地域社会の窓口としての役割を果たします。
- II. 生活協同組合は消費者が出資しにくらしに貢献するための事業を行っている協同組合です。ICA声明が謳う協同組合の定義と価値の精神にのっとり、事業者と消費者運動体の両方の性格を持つ組織として、社会での自助と公助を繋げる共助の役割を発揮し、協同組合理念と協同組合事業を広め、存在価値を地域社会の中にアピールします。
- III. 県連会員とのネットワーク、全国生協とのネットワーク、県行政や諸団体など対外的なネットワークに加え、会員生協の枠を越えたさまざまな活動をする組合員・職員など個人とも連携し、活動拠点としての役割を目指します。将来、消費者課題など他団体とのネットワークによる環境が整えば新しい消費者組織を設立することも考えます。

## 大学生協 みんな一緒に

奈良教育大学生協同組合 元学生委員 徳永 真人

私の県連デビューは1995年の生協大会だったと記憶しています。先輩と共に壇上に上がり、クイズを出題するというので、ドキドキしながらマイクを握っていたことを覚えております。

当時、奈良の大学生協は、教育大と女子大の2つだけでした。それが私の在学中1995年から1999年にかけて、商科大（現県立大）、奈良高専、樟蔭女子短大と、次々に設立されていきます。

その中で思ったのが、「せっかく大学生協の仲間が増えたのだから、奈良の5大学生協皆で一緒に活動したい」ということでした。そこではじめてのが、各新規設立校を回り、顔を合わせて話すこと。たわいもない話をしながらも、各生協での取り組みを一緒にお手伝いしたり、今度の県連総会ではどんな発表しようか、と相談しあったり…。そして初めて県連の活動で5大学生協の学生が揃い、一緒に活動できたときに涙を流して喜んだことは今でも鮮明に覚えております。

あれから12年もの月日が流れました。先日の20周年式典に出席させていただきましたが、5大学生協の学生さんが熱い思いを持って話してくれていたことを嬉しく思いました。

これからも、学生の皆さんのパワーで生協活動を盛り上げていただき、各大学生協、そして奈良県連がより一層ご発展されますよう、心より願っております。



## 奈良県の食の安全確保をさらにすすめるために

奈良県生協連では、食品偽装など消費者の不安が解消していないことから、昨年度末から奈良県における食の安全推進の取り組みや他府県の「食の安全推進条例」を学んできました。奈良県生協連として\*奈良県食品安全・安心懇話会を傍聴し、県にも要望書を提出。担当者の方と話し合いを持ちました。その経過をお伝します。

### 第14回 奈良県食品安全・安心懇話会 開催

日時：2010年10月14日(木) 14：00～16：00

場所：猿沢荘

議題内容 報告

平成21年度奈良県・奈良市食品衛生監視指導結果について

#### ◎意見交換

食品安全推進の施策について [食の安全推進条例制定の要望]

農産物生産現場における安全安心の取り組みについて

奈良県における口蹄疫対策について

安全・安心の食品について

### \*奈良県食品安全・安心懇話会

奈良県における生産から消費にわたる食品の安全・安心確保に関し、幅広く県民との意見交換を行うとともに食品の安全性の確保に関する施策の策定に当たって県民の意見を反映することを目的に2004年6月から設置。委員は15名。消費者（公募委員2名含む4名）・生産者・製造加工業者・流通業者・学識経験者からなる。流通代表として奈良県生協連の理事・ならコープ森宏之理事長が参加

### 奈良県の食の安全を推進するための条例づくりの 要望書を提出（2010年10月）

#### 要望のポイント

1. 食品安全基本法の理念に基づき、奈良県農業の持続的発展を踏まえた「奈良の食の安心・安全条例」の制定を要望
2. 農業水産振興課・畜産課、消費・生活安全課が食品供給工程の全段階に機能的に対応できているか関係部局が連携して検証してほしい
3. 奈良県食品安全・安心懇話会で、食に関わる関係者が基本理念に基づく各自の役割を発揮できるよう「条例制定委員会」の設置を要望



第14回奈良県食品安全・安心懇話会  
(猿沢荘2010.10.14)



2010年度第2回生協・行政協議会  
(猿沢荘2010.11.11)

### 2010年度 第2回生協・行政協議会にて 要望書に関する回答と意見交換

日時：2010年11月11日(木) 16:00～17:00 場所：猿沢荘

奈良県生協連では、県のご努力は認めながらも、消費者が考える食の安全安心についての県全体の施策を強めてほしいこと、農林水産業の生産現場や健康づくり推進課の地産地消や食育なども含め、消費者の安心構築への願いを受け止め、消費者を巻き込んだ条例で整理する要望を伝えました。

県としては、食品安全基本法に基づき、県や国の連携を進め、現在は奈良県食品衛生法施行条例も改正し機能していると考えている。生産現場から消費者までのフードチェーンに関係部局が連携している姿を見せる必要があると思うので、欠けているものがあればご指摘いただき具体的に一緒に学んでいきたいというご回答をいただきました。

今後も、奈良県の農林水産業の持続的発展を踏まえ、  
消費者の立場で行政と懇談の場を持ち続けていきます。



奈良県生協連主催の勉強会「食の安全懇談会」奈良県農業水産振興課環境係森本係長から (2010.5.24)

生活クラブ生協

創立3周年記念シンポジウム

生活クラブ生協設立から3年を迎え、組合員も2700名を超えました。より多くの組合員とともに「組合員が抱える課題・問題に応えられる地域の生協」に向けて考えようとお二人の講師を招いて開催され、約50名の方が参加されました。

日時：2010年12月5日(日)

10:00～14:30

場所：奈良市男女共同参画センター

シンポジウム「より豊かに 地域で暮らす」

午前 パネラー：播磨 靖夫さん ((財)たんぽぽの家理事長)

パネラー：色平 哲郎 さん (佐久総合病院地域ケア科医師)

午後 \* 「ヘルプマン! 8」読後会 意見交換



熱心に参加する組合員さん

「これから奈良で地域づくりを始める (生協の) 女性たちへ」

所得の再分配から可能性の再分配へ 播磨 靖夫さん

新聞記者だった40年前の高度経済成長下、障害のある人たちは取り残されてしまった。当事者の問題ではなく社会に障害がある。成長が日本に何を残していったのか、辺境に行かないと歪みが見えない。芸術を通して個人と企業をつなぐ障害者のための中間組織を作った。中間組織があちこちで壊れコミュニティが崩壊し個人が孤立し、生きることを支える基盤も崩れてきている。渚の生物が海をろ過し生命を生み出すように生協やNPOは渚の生物。最近、障害者が投げかけるアートから会話が生まれ人間関係のあり方を変え始めた。日本は「物」の成長を追いかけたが、これからは「知性・感性」の成長の時代になってきた。



播磨 靖夫さんの講演

「これからのコミュニティづくりについて (地域医療の視点から)」

色平 哲郎さん



色平 哲郎さんの講演

長野の農村では「おたがいさま・おかげさま」が残っている。農協が母体の病院で、村では組合員の比率も高く組合員が強い。全国からの訪問者に村のおばあちゃんたちが口コミで病院のことを伝えてくれる。長野県は全国で一番医療費が少なく、村人は現役で仕事を持っている。人をあてにせず期待しないこと。医師に命を預けないこと。未来は誰にもわからない。どんな人にも少しは力がある。一人の能力は限られておりみんなの力で前進できる。女性ばかりに負担をかけてきた従来のコミュニティの再現ではなく、いいところをとって「おたがいさま・おかげさま」を取り戻そう。人を排除しない、人を認める、仲間をつくる。冷たい風が吹いてきたら暖かくして返そう。そして「あなたはあなたのままでよい社会」を。



「ヘルプマン! 8」くさか里樹作「高齢者介護やヘルパー」を題材にしたコミック。(イブニングKC講談社) 第8編では日本の高齢者福祉とフィリピンヘルパーの現状を描く

コミック「ヘルプマン」読後の参加者とパネラーとの意見交換

立石理事長の司会で進められました。東京でたすけあいのワーカーズをされてきた方が、奈良でもできる予感がすると発言。介護福祉の授業は医学部で行われなため国民が声を上げてほしいと医学生から発言。地域でもどのようにしてコミュニティを作っていったらいいのか模索中という意見や、マンションで高齢者とわが子が仲良しであるため一つの希望であるなど感想が出されました。組合員や生協だけで完結せず地域で解決の道を探っていると大阪の生活クラブ生協からアドバイス。幅広い年齢層を持つ生協という中間組織の存在は大きく、自分の価値観を押し付けず、発信続けることの大切さを参加者は確信されたようです。



## 生物多様性条約第10回締約国会議(COP10) 取材報告

カルタヘナ議定書締約国会議(COP/MOP5)と生物多様性条約締約国会議(COP10)が10月11日～29日、名古屋市にて開催。その合間の16～17日に、現地のブースや市民パレードの様子を見に行ってきました。

COP10は179の締約国、関連国際機関、NGO等から13,000人以上が参加。日本は、松本環境大臣がCOP10の議長を務め、遺伝資源へのアクセスと利益配分(ABS)に関する「名古屋議定書」と、2011年以降の新戦略計画(愛知目標)、名古屋-クアラルンプール補足議定書(遺伝子組換え生物から生じた被害救済措置を規定)が採択されました。これを受け、各国の国内施策(国内目標の設定・法制度)への反映や、医薬品・研究の遺伝子資源活用行為の手続きの新設、遺伝子汚染被害の場合の事業者特定や原状回復命令などが行われることになります。(国内法制化は今後の課題)

会場は名古屋国際会議場、愛・地球博記念公園会場など数地区に分散して開催。名古屋市のメイン通りを栄～名古屋国際会議場まで市民パレードが行われました。



ジュゴンの保護を求める沖縄の市民団体

### コープあいち、大学生協東海センターも出展



名古屋国際会議場付近 白鳥地区  
生物多様性条約市民ネットワーク  
出展ブース



おりがみプロジェクト  
来場者による折り紙で飾られたモ  
ニュメント

地域の自然の恵みを安定的に維持する「セーフティネット」をつくることや、地域社会の発展と「将来有益かもしれない資源」とのバランスを図り、そのための市場や公共政策の在り方や私たち市民の考え方も変わる必要があります。

### 必見 COPとは?

締約国会議のこと。条約ごとにある。

## 気候変動枠組み条約第16回締約国会議(COP16)開催

11月29日から12月10日、メキシコのカンクンにおいて、気候変動枠組条約第16回締約国会議(COP16)、京都議定書第6回締約国会合(CMP6)などが行われました。

日本政府は、京都議定書の単純延長ではなく、すべての主要排出国が参加する公平かつ実効的な国際枠組みの構築の必要性を強く主張しました。

京都議定書第2約束期間(2013年以降)に対する各国の立場を害しないことを脚注で明記しつつ、COPと同様に先進国の排出削減目標をまとめた文書に留意することになりました。今後は、2011年末に南アフリカのダーバンにて開催されるCOP17・CMP7に向け、今回の合意内容を基礎とした交渉を続けることとなります。

### 《決まったこと》

#### 京都議定書第6回締約国会合(CMP6)

京都議定書第2約束期間を前提に、先進国の削減目標を京都議定書の第1と第2約束期間との間に空白を生じさせないように決めなければならない。

#### 気候変動枠組条約第16回締約国会議(COP16)

平均気温の上昇を2℃未満にすべきことを認識。世界全体の排出量を可能な限り早く山を越え、2050年までに大幅な削減が必要。

- 米中などを含め各国が「コペンハーゲン合意」に書き込んだ目標を補助機関の決定に書き込むこと

COP15(コペンハーゲン会議)に、奈良県生協連が大学生を派遣した一昨年に比べ、国内での報道は少なく、市民の関心もあまり盛り上がりませんでした。COP17での合意が法的拘束力のあるものになるかどうかは今後の交渉に委ねられます。COP15でも求められていた「世界全体の排出量の山をいつにするのか」の時期も明記されず、2050年の削減量が書かれていないなど不十分な点がありますが、今回の決定は重要な足がかりになったと評価されています。日本国内では、「地球温暖化対策基本法案」が先送りになりました。実効性ある対策を一日も早く進め、リーダーシップを発揮するように市民も注目していく必要があります。

# つながる連帯・友好の輪

## □奈良県消費者団体交流会

10月27日（水）奈良県文化会館で開催され、12団体21人と行政から姫野消費・生活安全課課長補佐、大前消費生活センター所長含め6人が参加されました。各団体の活動、現状報告と今後のネットワーク化のための事前相談をする幹事団体を確認しました。（生活学校、消費生活ネットワーク、グループあんあん、こむらいふ奈良、奈良の消費者行政を考える会）。各団体とも、高齢化や財政難で運営が厳しい状況が報告されました。奈良県生協連から伊藤ならコープ理事、コープ自然派前川理事、新田事務局長が参加しました。奈良の消費者行政を考える会から仲宗根県連専務、こむらいふ奈良からは辻ならコープ副理事長、木下ならコープ理事が参加しました。

## □TPP交渉への参加に反対し日本の食を守る奈良県緊急集会

政府は、11月9日に関税撤廃による貿易の完全自由化をめざした環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）の関係各国との協議を開始する方針を打ち出しました。

交渉への参加を巡って、様々な団体・個人から賛否の意見が出されていますが、JA奈良県中央会から「TPP交渉への参加に反対し日本の食を守る奈良県緊急集会」への参加要請がありました。奈良県生協連として、国民の食と農を守る立場、食糧安全保障とそのため自給力の向上、奈良県内の農業・畜産の重要性と多様な機能の保持のため、また協同組合連帯を大切にするために、この集会の実行委員会に参加をいたしました。当日は会場一杯の1000名の参加者。奈良県生協連からも26名が参加し、消費者団体を代表して瀧川潔奈良県生協連会長が挨拶しました。



## □第1回地域生協組合員理事交流会

12月14日に奈良県生協連創立20周年記念企画として、第1回地域生協組合員理事交流会を開催しました。3つの地域生協（生活クラブ生協・コープ自然派奈良・ならコープ）から28名の組合員理事・監事が参加し、「まず知り合おう～なんで生協やってんの？～」をテーマに交流しました。各生協の組合員活動の紹介や組合員理事の関わり方などの報告の後、グループに分かれて組合員理事の活動等について楽しく交流を深め、組合員理事の役割の大切さを確認しあいました。



## □ならコープの庭が人気！「全国都市緑化ならフェア」

馬見丘陵公園で開催された「第27回全国都市緑化ならフェア」（9月18日～11月14日開催）で、10月3日と11月2日に一般来場者による出展花壇の人気投票が行われ、ならコープの花壇「やさいとくだもの庭」が2位《暮らしの辻（20㎡）部》になりました。11月2日の投票日当日も来場者が多く訪れ、野菜談義でにぎわっていました。



ならコープ「やさいとくだもの庭」  
2010年11月2日撮影

## □ 景品表示法学習会

12月6日、KC's主催で景品表示法学習会が大阪府消費生活センターで開催され、消費者、相談員、メーカーなど約50人が参加しました。消費者契約法に続き特定商取引法、景品表示法に団体訴訟が適用されるようになり、消費者庁水村豊さんより景表法の概要と具体的な事例を学びました。おおさかパルコープの食品表示ウォッチャーズとこむらいふ奈良がそれぞれ健康食品の新聞広告など、表示調べ活動を報告し、水村さんからコメントをいただきました。「え〜ッ」というような表示に参加者一同驚きを隠せませんでした。



報告をするこむらいふ奈良の辻さん

## □ 「市民の力で核兵器廃絶へ！」交流会

12月10日、東京プラザエフにおいて「市民の力で核兵器廃絶へ！」交流会が開催され50人が参加しました。広島平和文化センターの国本善平さんの基調講演のあと、コープやまぐちの秋葉広島市長と平和市長会議加盟自治体首長との意見交換会報告、CANT署名の取り組み提案があり、参加団体の活動交流がされました。

## 「消費者被害のない安心して暮らせる地域づくり」

～地方消費者行政の充実強化、行政と市民が連携してできること～

**日時** 2010年3月12日(土) 13:30～16:30

**場所** 県社会福祉総合センター

**主催団体** 奈良県、奈良の消費者行政を考える会 後援 橿原市

**プログラム** 寸劇クイズ：(こむらいふ奈良) コメンテーター (消費生活専門相談員)

基調講演：池本誠司氏 (弁護士、消費者庁参与)

「地方消費者行政を充実させるために、行政と市民ができること (仮)」



### ☑ パネルディスカッション

県暮らし創造部次長 堀川幸男氏 県のめざす地方消費者行政と市町村へのアプローチ

橿原市長 森下 豊氏 橿原市の消費者行政の考え方と取り組み

消費生活専門相談員 坂本千津氏 相談員から見える消費者被害と相談業務の課題

「考える会」 辻 由子氏 調査報告と市民ネットワークと市町村との連携

コーディネーター 池本誠司弁護士

### ☑ 会場発言とディスカッション、池本弁護士まとめ

\*申込み・お問い合わせは 奈良県生協連 TEL :0742-34-3535 FAX :0742-34-0043

## 奈良県生協連第4回理事会報告 11月11日(木) 猿沢荘

### 【主な審議事項】

(1) 奈良県生協連創立20周年記念事業に関する件 (第5次)

(2) その他事項の件

① 「奈良の消費者行政を考える会」のシンポジウムの開催について

② 内閣府・全国消団連共催「地方消費者グループ・フォーラム」について

# 県連日誌

## 10月

- 6日 関西消費者団体懇談会
- 7日 関西地連大規模災害協議会全体会
- 12日 県なら安全安心すまいづくり協議会街頭啓発活動
- 13日 日本医療福祉生協連創立記念レセプション
- 13日 奈良の消費者行政を考える会
- 14日 県食品安全・安心懇話会
- 16～ 生物多様性条約
- 17日 COP10名古屋取材
- 18日 温暖化防止ネットワーク関西
- 19日 県指導検査(奈良県立大学生協)
- 20日 奈良県生協連上期監事監査
- 22日 関西地連府県連協議会
- 27日 奈良県消費者団体交流会

## 11月

- 2日 荒井知事訪問・講演の打合せ
- 4日 KC's 双方向コミュニケーション研究会
- 6日 シンポジウム「消費者行政の充実に向けて」(新しい消費者行政を実現する連絡会)
- 11日 第2回生協・行政協議会
- 11日 奈良県生協連第4回理事会
- 20日 奈良生協連創立20周年記念式典・レセプション
- 24日 近畿地区府県連協議会
- 27日 国会議員事務所訪問
- 30日 適格消費者団体と近畿府県消費者行政担当者との懇談会

## 12月

- 1日 ピースアクションすすめる会
- 2日 関西地連運営委員会
- 6日 KC's 景品表示法学習会
- 7日 TPP 反対奈良県緊急集会幹事会
- 9日 TPP 交渉への参加に反対し日本の食を守る奈良県緊急集会
- 9日 日本生協連全国県連責任者会議
- 10日 「市民社会の力で核兵器廃絶」交流会
- 10日 関西地連・生協における監事監査の環境整備に向けた学習会
- 14日 第1回地域生協組合員理事交流会

# お知らせ

## 開催案内

# ぼくらのごはんが未来をつむぐ

講演 「今治市のまちづくり・学校給食・食育」

今治市企画課政策研究室長 安井 孝さん

日時 2011年1月22日(土) 13:30～16:00

場所 奈良市勤労福祉サービスセンター(うえるびい奈良)  
(JR平城山駅/徒歩5分 近鉄高の原駅下車 奈良交通バス・左京6丁目/徒歩15分)

参加費 500円 申込み先 コープ自然派奈良(☎0120-408-300)

## 編集後記

20周年式典の『知事と語ろう』の中で知事が印象に残っている言葉として「Do you want to be liked? (君は人に好かれるのか?)」をあげられました。アメリカ留学時代に友人から言われた言葉だそうですが、文化の違いを感じました。「和をもって尊し」を大切にすることを主張するアメリカ人、知り合うためにも自己主張は大事だと感じました。(迪)

一年を振り返ると気候がおかしかったですね。桜が咲いてからも寒さがぶり返し、夏は猛暑とゲリラ豪雨や竜巻。農水産物に大きな影響が出ました。温暖化が進むと予測される気象に似ているとか。生物多様性を守ることにグローバル化、経済活動と温暖化対策との両立。世界中の市民が健やかに生きていける社会が望みですが、無理なのでしょいか。(順)

県連創立20周年記念企画で、日本の伝統文化のひとつである雅楽をはじめて生で鑑賞しました。たった15分でしたが、悠久の調べを感じる幸せなひとときを過ごす事ができました。一方で日本の伝統的食文化の行方が危ぶまれています。TPPの動きに注目したいと思います。(和)